

東電への損害賠償請求



2013年10月20日
-53号

発行
日本共産党県議会議員
渡辺 ゆり子

<連絡先>
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241(受付)
自宅：山形市青田2-10-5
電話 023-642-2365

県議会9月定例会に
おける10月4日・7日の
各委員会審査において
取り上げられた詳細を
報告します。

商工労働観光
常任委員会(4日)
被災者・避難者への雇用支
援の継続を

私は、東日本震災によ
る被災者の雇用の実績と今
後の見通しについて質問し
ました。小関正弘雇用対策
課長は、「国からの雇用対



9/26消費増税中止を求める昼休みパレードに参加

慶應大学先
端研への支援
のあり方しつ
かり検証を

県と鶴岡市
で慶應大学先
端生命科学研
究所への支援
(7億円)が
2001年か
ら続けられて
おり、今年

策基金で対応しており、2
011年度から今年8月ま
で、のべ3835人の雇用
機会を創出し、その間被災
者はのべ675人、「被災

地以外については来年度は
不透明で、県としても事業
継続を要望している」と述
べました。私は、「ピーク
時から見れば半数になった
が、県内には6千人を越え
る避難者の方がおり、雇用
がどうなるか不安を抱えて
お母さんたちがいる。雇用
支援について引き続き国に
働きかけるべきだ」と主張
しました。

第3期3年間の支援期間の
最終年度に当たります。

私は、第3期の評価と今
後の支援のあり方の検討を
どうして行くのか質問しま
した。木村和浩科学技術政
策主幹は、「有識者による
評価委員会を開催しており、
10月下旬には3回目を予定
している。同研究所の研究
成果報告書をもとに研究成
果や事業化、地域貢献、ク
ラスタ形成などについて
評価し取りまとめ、今後の
支援のあり方を検討する」
と答えました。

私はさらに、「鶴岡市民
の中では、スパイバーの人
口クモ系の成果や今後の事
業化に期待する声がある一
方で、同研究所に対する研
究支援については縮小すべ
きとの声が多い。これら市
民の声を良く受け止めてほ
しい」と指摘し、「国家的プ
ロジェクトにつながる研究
なので、(自治体よりも)
国や大学、企業などの財政
支出がもっと必要なのは
ないか」と発言しました。

ゆり子の 視点

原発なくそう行
動続けています
市内で週1回続け
られている「しあ
わずぶ濡れになり
ました方が何人か
いい笑顔でした。

せの脱原発ウオー
キング」は地道に
続けられている「
山形ドキュメンタ
ー映画展」に少し
はアピールでき
る。私もできるだ
に参加しようと努
力した海外関係者
でたかと思いきや
10月11日、どし
やぶりで手やエ
ールを送ってく
たらしながらも
笑顔でした。

中小企業振興対策 特別委員会(7日)

寒河江川濁り原因調査を

私は「7月の豪雨から2ヶ
月以上経過するのに寒河江
川流域は濁りのため、例年
多数訪れる釣り人がさっぱ
り来ない。減収だの声があ
る」と指摘。「来年はどう
なるのか、地域資源である
寒河江川の環境維持に対す
る不安の声が聞かれる。濁
りの原因をしっかりと調査し
、対応すべきではないか」と
質問しました。五十嵐和昌水
産課長は「漁協の協力も得
ながら調査を行っているが
透明度は増してきている」
と答弁。若松正俊農林水産
部長は「農林水産部として
も森林課が付近の支流、沢
などを調査している。目視
では、寒河江ダム(国交省)
から下流の水ッ滞ダム(東
北電力)間のところから濁
りが見られる。現在、国な
どを含めて一体で原因を調
査する検討をはじめている
ところ」と答弁しました。

原発事故 県の東電への 損害賠償請求一部合意

損害賠償請求一部合意

県は9月27日、原発事故
による損害賠償請求の一部
について東京電力と合意し
たと発表しました。私は、
2012年3月議会予算特
別委員会で「東電に自治体
として損害賠償請求をすべ
き」と質問し、県はその後、
6月に2011年度分とし
て5億6183万円請求し
ていました。今年の6月議
会での質問に対しては、一
部について合意し、合意で
きない部分は粘り強く交渉
していく姿勢を示していま
した。今回合意したのは、
主に食品水道水などの検査
費用、空間線量検査費用な
ど2億4094万円で、10
月下旬に受領予定です。

「オスプレイ訓練中止を求
める請願」
不採択に反対討論

県革新懇が提出した「M
V-22オスプレイの配備と飛

土砂降りの中パレードに参
加する皆さん



8日の本会議で私は反対
討論に立ち「オスプレイは
8月にも米ネバダ州で重大
事故を起こしている。沖縄
の苦しみを全国に拡散させ
るべきではない。県民の生
命、安全を守るために請願
は当然だ。願意妥当」と主
張しました。無所属県議の
一人も反対討論に立ちまし
た。本会議では、反対2人
で、社民党議員3人が退席
し、賛成多数で不採択とな
りました。(本会議では、
請願に賛成か反対かではな
く、委員会決定に賛成か反
対かで採決される)